



クリンカラーU水性

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆

人と環境にやさしく、従来にない強じんな塗膜が形成される2液形水性塗料です。

塗り替えの場合、幅広いタイプの旧塗膜に**プライマーレスで塗装でき**

ローラー・はけで塗りやすく、作業感がなめらかです。

さらに、艶と肉持ち感にすぐれ、美しく仕上がります。

塗装床面の
改修に
オススメ!!

■特長

①旧塗膜にプライマーレスですぐれた付着性

各種旧塗膜を侵すことなくすぐれた付着性を発揮し、

プライマーレスで塗装できます。※別途、研磨などの下地処理が必要です。注)新設の場合にはプライマー(下塗り)としてニッペクリンカラーWエポ速乾プライマーが必要となります。

②高光沢で耐摩耗性にすぐれた強じんな塗膜

光沢が良く塗膜硬度が高いため、耐摩耗性にすぐれ、フォークリフトのタイヤ汚れなどから床を守ります。

③耐薬品性

耐薬品性・耐アルカリ性にすぐれるため、工場などの屋内用途に適しています。

④バランスのとれた使いやすさ

耐候性・耐水性にすぐれるため、屋外用途でも使用できます。

乾燥性も良好で、性能バランスの取れた使い勝手の良い水性塗料です。

⑤人と環境にやさしい

水性塗料なので臭気が少なく、安全にお取扱いいただけます。



※写真はイメージです。

■適用下地

各種旧塗膜下地など(下地の種類や状態により、適切な下地処理を行ってください。)※ アスファルト面を除く。

■製品体系

品名	系統	色相	容量
ニッペクリンカラーW エポ速乾プライマー	水性2液速乾形 エポキシ樹脂床用下塗り塗料	主剤:乳白色 硬化剤:淡黄色	12kgセット(塗料液6kg:硬化剤6kg)※ 3kgセット(塗料液1.5kg:硬化剤1.5kg)※
ニッペクリンカラーU水性	水性2液形 ポリウレタン樹脂防塵床用塗料	塗料液:各色 硬化剤:無色	15kgセット(塗料液14kg:硬化剤1kg) 3.75kgセット(塗料液3.5kg:硬化剤0.25kg)

※ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマーの硬化剤には夏用と冬用がございます。使用目安は気温15℃以上:夏用、気温5℃以上15℃以下:冬用となります。

■塗装基準

塗料名	ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー	ニッペクリンカラーU水性
セット	主剤:硬化剤=6kg:6kg =1.5kg:1.5kg	塗料液:硬化剤=14kg:1kg =3.5kg:0.25kg
混合比	主剤:硬化剤=1:1	塗料液:硬化剤=14:1
ポットライフ	硬化剤夏用:1時間(30℃) 2時間(23℃) 硬化剤冬用:2時間(5~10℃)	1時間(30℃) 2時間(23℃) 2時間(5~10℃)

★2液形塗料は、塗料液(主剤)と硬化剤の混合割合を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。(硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、付着性、造膜性、硬化性、乾燥性、耐汚染性の低下や色相変化が起こるなど、塗膜性能や仕上がりに悪影響を及ぼします。)

★軽歩行可能時間は、ニッペクリンカラーU水性塗装後16時間(10℃)、4時間(23℃)3時間(30℃)となります。車両の走行は塗装後72時間が経過した後に行ってください。早期の使用は、塗膜が割れたり、乾跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。

■常備色

※印刷につき、実際の色とは異なります。★は小缶(3.75kgセット)対応可。

CB1 ダークグリーン	CB2 グリーン★	CB3 フレッシュグリーン★	CB4 ウイローグリーン
CB5 ライトブルー	CB6 レッドブラウン★	CB7 パフ	CB8 ベージュ★
CB9 グレー★	CB10 ライトグレー★		

注)その他色相(標準色および各色)は受注生産(調色)にて対応可能です。
注)色相の詳細は、クリンカラー色見本帳をご参照ください。

■用途(屋内外用)



一般工場



食品工場



倉庫・配送センター



事務室・教室



食堂



店舗・事務所



通路・廊下・階段



コンクリート駐車場(屋内外)

ニッペ クリンカラーU水性

標準塗装仕様

【新設】平滑仕上げ／防滑仕上げ

※防滑仕上げの場合のみ、骨材散布工程を実施ください。

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整 (新設)	新設コンクリート・モルタルは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H1500シリーズで測定した場合)になってから施工してください。表面のレイタンスや不純物は完全に取り除いてください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
下塗り ^注	ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー	1	0.10～0.16	4時間以上48時間以内	—	—	はけ・ローラー
上塗り①	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13～0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3～7%	はけ・ローラー
(骨材散布)*	上塗り①塗装直後、珪砂6号あるいは珪砂5号を50～300g/m ² を適量散布する。乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。						
上塗り②	ニッペクリンカラーU水性	1	平滑0.13～0.17 防滑0.17～0.21	3時間以上48時間以内	水道水	3～7%	はけ・ローラー

【塗り替え】平滑仕上げ／防滑仕上げ

※防滑仕上げの場合のみ、骨材散布工程を実施ください。

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地処理 (既存塗膜改修)	剥がれかかった既存塗膜は完全にケレン除去してください。研磨紙P40～P100あるいはポリッシャー(ワイヤー)にて表面を研磨し目粗ししてください。ごみ、ほこり、油分などは除去し清浄な面としてください。表面にワックスがある場合は水性ワックス用はく離剤ではなく離してから水洗いを十分に乾燥してください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。						
上塗り①	ニッペクリンカラーU水性	1	0.13～0.17	3時間以上48時間以内	水道水	3～7%	はけ・ローラー
(骨材散布)*	上塗り①塗装直後、珪砂6号あるいは珪砂5号を50～300g/m ² を適量散布する。乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃する。						
上塗り②	ニッペクリンカラーU水性	1	平滑0.13～0.17 防滑0.17～0.21	3時間以上48時間以内	水道水	3～7%	はけ・ローラー

注)下塗り「ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー」は気温が5℃以上15℃以下の時、冬の硬化剤をご使用ください。塗り重ね乾燥時間は6時間以上72時間以内となります(上記の塗り重ね乾燥時間は23℃における夏用の硬化剤での数値です)。詳細は製品使用説明書やカタログをご確認ください。

注)下塗り「ニッペクリンカラーWエポ速乾プライマー」は、緻密仕上げのコンクリート、強化コンクリート、磁器タイルは吸込みが少ないため使用量が少なくなります。

★既存塗膜の改修の場合は、必ず表面を研磨し目粗ししてください。不足している場合は、はく離が生じる場合があります。

★塗り替えの場合でも、コンクリートやモルタルが露出している箇所には、プライマーの補修塗りが必要です。

★具体的な素地調整方法については、ニッペクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。

★上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

★塗り重ね乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

■施工上の注意 (詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。)

- 使用量は、塗料のみについての記載です。塗料の中に珪砂やウレタンチップを混合して防滑仕上げる場合に、混合する珪砂ウレタンチップの使用量は含まれていません。
- オーバークートにクリンカラーマークガードは使用しないでください。
- 塗料液と硬化剤を混合後の塗料については、必ず使い切るようにしてください。
- 塗料液と硬化剤の反応に伴い、炭酸ガス(CO₂)が発生します。混合後の塗料を密閉容器に保管しますと、炭酸ガスにより、容器内の圧力が高まることから、密閉容器への保管は避けてください。特に高温になる環境(夏場・車内等)では炭酸ガスの発生が促進し、ふたが飛び等のおそれがあることから、絶対に避けてください。
- 本製品を混合後に、塗料が余り、容器に保管する必要がある場合は混合から翌日までは、ふたをせず保管してください。
- 万が一、混合後に密閉容器に保管してしまった場合には、容器内部の圧力が上昇しているおそれがあります。容器のふたを開ける際、ガス圧力により塗料が飛散するおそれがあることから、ウェス等でふたを覆い、あらかじめガス抜きを実施した後、ふたを開けるようにしてください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- 施工後、車両のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可塑剤を含むものを置くと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。
- 厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- 旧塗膜の種類が不明の場合には、積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜剥離が発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- 軽歩行は塗装後、4時間以上経過した後より可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後に行ってください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- アスファルト面への塗装は、剥れやにじみが発生するおそれがありますので避けてください。
- 旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリッシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
- 強化コンクリート、カラーコンクリート、フェロコン、ち密に仕上られた一般コンクリート・モルタル面へ施工の際は付着性向上のため、研削機を用いて下地表面を物理的に目粗しするか、PHコントロール剤3(酸性薬剤)を使用後水洗し表面を仕上げてください。(フェロコンには使用できません。)または、研磨紙(#40-80)で表面を目粗しした上で、専用のプライマー(クリンカラーバワフルプライマーに強化C添加剤を加えたもの、またはクリンカラーWエポ速乾プライマー)をご用ください。
- 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどで、排水処理を行ってください。
- 常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、ニッペクリンカラーEレジモルクリヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
- 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- 下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑面にしてから塗装を行ってください。
- 塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
- 旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- サンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2～3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- 塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げる場合は珪砂は沈殿しやすいので、かき混ぜながら塗装してください。
- クリンカラー防滑骨材を配合した塗料はすみやかに使いきってください。長時間放置されますと骨材が沈殿もしくは浮いてきます。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて割合し、使い切りとしてください。
- 施工に関する詳細な注意事項はクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥れ、はく離、剥れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 28反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 硬化剤は湿気硬化しますので密閉して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H1500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 濡れ、すずなどは隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 汚れ、すずなどにより補修が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物／容器を国際、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのままだけや排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご確認ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東直越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- 「ニッペクリンカラー」登録第1714383号は、日本ペイントホールディングス株式会社が権利者の登録商標です。
- ©Copyright 2023 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-B088

AA230902T
2023年9月現在